



みやぎ

—40号—

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
 発行責任者 清野 仁  
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
 ホム&P -ツ http://www.mnh.go.jp/

平成26年度のスタートにあたって

院長 清野 仁

例年になく雪の多かった冬もようやく去り、一気に春が駆け足で訪れた感があります。今年もまた宮城病院の桜は、地元の宮城病院を守る会のボランティアの方々の剪定作業などの手厚い保護のもと、見事に咲き誇りました。

しかし、今年も、別れと出会いの季節と重なり、3月31日には多くの仲間を送り出しました。退職や人事異動で病院を去られた方々には、これまで、大震災など、数々の試練、課題を乗り越え、現在の宮城病院を共に築いていただきましたことに、この誌上を借りてあらためて、心より感謝を申し上げる次第です。

一方、4月に入り、新規採用や人事異動などで多くの新しい仲間を迎え入れることができました。卒業したばかりの新社会人も、5日間の新人研修を難なく終え、その初々しく、澁刺とした姿には、大きく成長し、大いに当院を活性化してくれるものと期待しているところです。また、今年度は、管理課長、副看護部長をはじめ、多くの経験を積まれた大勢の職員の方々や、小児科医長として、重症心身障害児・者医療にも豊かな経験をお持ちの大島郁子先生を迎えることができました。さらに、東北大学からの応援を得て、新たに糖尿病外来を開設し、神経内科、循環器科外来診療の充実を図ることができました。この新しい体制で、山積する多くの課題に取り組み、政策医療の推進と地域医療への一層の貢献を果たしていきたいと考えております。



前列左から：村上事務部長、安藤統括診療部長、清野院長、  
 久永副院長、伊藤臨床研究部長、青山看護部長  
 後列左から：大泉企画課長、砂田管理課長、菅野薬剤科長、  
 三浦経営企画室長、檜崎副看護部長

(次ページへ)

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

(前ページより)

当院の経営につきましては、平成25年度は、前年度までの数年間に比し、大幅な医業収益の減少という結果になってしまいました。これは、入院および外来患者数が計画を大きく下回ったことによるものでありますが、その大きな要因としては、やはり大震災後における町の人口減少や医師数の不足が挙げられました。

しかし、このような抗し難い環境の中にあいながらも、職員一人一人には、それぞれの持ち場で大いに力を発揮していただきました。そして、3月3、4日には、震災前から準備を進めてきた病院機能評価を、初めて受審することができました。高いハードルでしたが、職員皆が一丸となって、宮城病院の底力を発揮し、大きな成果が得られたものと考えております。そして、この取り組みやQC活動などは、当院が提供する医療の質を大いに高めてくれ、逆境を乗り越える力となり、当院の財産になるものと確信しているところです。

東日本大震災という未曾有の大災害から、この3月で早や3年が経過しました。山元町でも復興は徐々にではありますが、着実に進んでおります。常磐道の延伸工事も進み、常磐線の復旧工事も着工するなど、復旧・復興の形が見え始めてきました。しかし今なお、多くの住民の方々が仮設住宅に居住している現状もあり、真の復興には、まだまだ多くの年月を要します。

宮城病院は引き続き、復興事業に全面的に協力することとしております。そして、町の復興・発展と歩調を合わせて、さらに充実した病院作りを目指す所存です。

当院の医療が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に「安全で心を込めた良い医療」を提供していきたいと思っております。

## 倫理研修に参加して



去る2月17日(月)、職員研修の一環として、全職員を対象に倫理研修が開催されました。講師に千葉大学大学院看護学研究科病院看護システム管理学教授 手島恵先生をお招きして、「医療における倫理的課題」のテーマで行われました。

当日は、全職員対象ということもあり、看護師だけでなく医師や事務・リハビリテーション科などなど、他職種の参加がありました。医療の現場で倫理性の確保がなぜ重要になってきたかという基本から、多様化する現代の情勢の特徴をふまえて文化的価値観に対する考え方やソーシャルメディアを適切に取り扱う時の注意点など、ご自身の体験や事例を交えて楽しくお話ししていただきました。特に私たち専門職の行動

には、倫理は欠くことのできない条件であり、個人の倫理観は日々の小さな道徳的判断やカンファレンスの蓄積と言われており、日常のカンファレンスの重要性を再認識しました。参加者からも質問があり、宮城病院職員の関心の高さが窺われました。

この研修後、各職場で倫理カンファレンスが行われ、宮城病院の行動理念のもと良い医療が提供出来るよう職員全員で取り組んでいきたいと改めて思いました。



(南a病棟看護師長 志和池 賀美)

# 防災訓練の実施

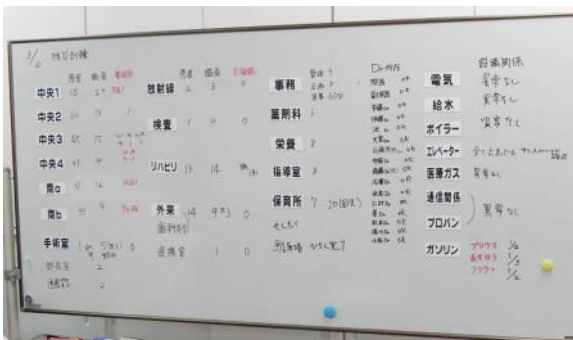
平成26年3月20日（木）、東日本大震災から3年余りが過ぎたこの日、日中の津波を想定した防災訓練を実施しました。

14時に宮城県沖で震度6強の地震が発生し、津波警報が発令されたという想定で、幹部職員を小会議室に招集して「災害対策本部」を立ち上げ、津波避難基準レベルに応じた避難命令及び避難誘導、各職場からの被害情報を収集して本部で被害状況をまとめ災害対策本部長（院長）への報告までの流れを確認しました。

津波避難基準レベルに応じた避難というのは、気象庁が発表する津波警報・注意報に応じて避難対象と避難場所をあらかじめ対応させていることです。気象庁が発表する津波警報・注意報には、0.5m程度の津波を想定した「津波注意報」、2m～3m程度の「津波警報」及び3m～10m以上の「大津波警報」の3段階に分かれています。一方、病院の建物についてもその建築場所にあわせて高・中・低の3段階に分け、それぞれの段階と津波警報・注意報の種類を関連づけ、津波警報・注意報が発令された場合における避難場所を定めています。

今回の想定は「津波警報」だったため、職員の避難誘導により外来駐車場にいる方と院内保育所内にいる方は外来管理治療棟に、また機能訓練棟にいる方は南病棟に避難していただきました。

一方、「災害対策本部」では、各職場からの被害情報を収集しました。病棟からはリハビリに行っていたり、入浴中だったりして病棟を不在にしている旨の報告があがってくるなど、「そういうこともあるよね」とみんなでうなずきながらも情報をまとめて、災害対策本部長（院長）への報告までつつがなく終わりました。



当日の訓練では手順の確認を主とした訓練でしたので、比較的短時間で終了となりましたが、被害情報や安否確認を集約するうえでの様々な問題点があらためて浮き彫りとなりました。今後も各部署と連携して、引き続き防災体制の整備に取り組んでいきます。

（職員係長 永野 正之）

## 紹介医療機関（3月末日現在）ご紹介ありがとうございます。

- ・松村クリニック（84件）
- ・仙台厚生病院（56件）
- ・東北大学病院（52件）
- ・南東北病院（46件）
- ・浜通りふれあい診療所（36件）
- ・公立相馬総合病院（64件）
- ・三浦クリニック（53件）
- ・やべ内科クリニック（48件）
- ・みやぎ県南中核病院（40件）
- ・浜吉田駅前内科（35件）

# 診療案内

平成26年4月1日現在

| 診療科別     |           | 月            | 火                  | 水                         | 木                 | 金                              |
|----------|-----------|--------------|--------------------|---------------------------|-------------------|--------------------------------|
| 内科       |           | 清野 仁         | 清野 仁               |                           | 清野 仁              | 清野 仁                           |
|          |           | 志澤 聡一郎       | 志澤 聡一郎             | 志澤 聡一郎                    | 志澤 聡一郎            | 志澤 聡一郎                         |
|          |           |              | 神部 陽子              | 神部 陽子                     |                   | 仙台医療センター                       |
| 神経内科     | 新患        | 伊藤 博明        | 松本 有史              | 久永 欣哉                     | 東北大学病院            | 東北大学病院                         |
|          | 再来        | 久永 欣哉        | 久永 欣哉              |                           | 久永 欣哉             | 久永 欣哉                          |
| 呼吸器科     |           | 今井 尚志        | 伊藤 博明              | 松本 有史                     | 伊藤 博明             |                                |
| 消化器科(午後) |           | 芦野 有悟        |                    | 県立がんセンター<br>(13:30~15:30) | 県立がんセンター<br>(検査日) |                                |
| 循環器科     |           | 星 信夫         | 東北大学病院             | 星 信夫                      | 星 信夫              | 星 信夫                           |
|          |           |              | (星 信夫)             |                           |                   |                                |
| アレルギー科   |           | 堀川 雅浩        | 大島 武子              | 堀川 雅浩                     | 大島 武子             | 堀川 雅浩                          |
| 小児科      | 午前        | 堀川 雅浩        | 大島 武子              | 堀川 雅浩                     | 大島 武子             | 堀川 雅浩                          |
|          | 午後        |              | 小児アレルギー<br>(堀川 雅浩) |                           | 療育相談<br>(大島 武子)   |                                |
| 整形外科(午後) |           |              |                    |                           |                   | 県立がんセンター<br>(13:30~15:30)      |
| 形成外科(午後) |           |              |                    |                           |                   | 澤村 武<br>泉山 祐美<br>(13:30~15:30) |
| 脳神経外科    |           | 永松 謙一        | 安藤 肇史              | 仁村 太郎                     | 手術日               | 安藤 肇史                          |
|          |           | (仁村 太郎)      |                    |                           |                   | 永松 謙一                          |
| 皮膚科      |           |              |                    |                           | 東北大(第3木)          |                                |
| 歯科       |           | 中原 寛子        | 中原 寛子              | 中原 寛子                     | 中原 寛子             | 中原 寛子                          |
| 専門外来     | パーキンソン病外来 | 神経内科外来にて随時受付 |                    |                           |                   |                                |
|          | もの忘れ外来    | 神経内科外来にて随時受付 |                    |                           |                   |                                |
|          | 頭痛外来      | 神経内科外来にて随時受付 |                    |                           |                   |                                |
|          | ALS外来     | 今井 尚志        |                    |                           |                   |                                |
|          | 糖尿病外来     |              |                    |                           | 東北大学病院            |                                |
|          | 禁煙外来(午後)  |              |                    |                           |                   | 山本 蒔子<br>(第2・4週)               |
|          | 漢方外来      | 志澤 聡一郎       |                    |                           | 志澤 聡一郎            |                                |
|          | 腎臓病外来(午後) |              |                    |                           |                   | 東北大学<br>(第1・3週)                |
|          | 入れ歯外来     |              |                    |                           | 伊藤 秀美             | 伊藤 秀美                          |

## 受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
ただし、救急の方は随時受け付けいたします。  
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,700円を負担**していただくこととなりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。  
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線亶理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

